

「NoBoDy 宣言書」

以下の文章は筆者が幾度となく「怠慢になってきた表層 Underground (今いる、すぐにたどり着ける地下)」の住民を刺激し、啓蒙する意味として翻訳者に許可を頂いて転載してきたものである。当方のBBS、あるいは配布したテキストで読んだ方も少なからずいると思う。

多くの者が「知的好奇心」という名の下に積極的な情報の公開を行ってきた。けれども、これらのH/C/P/V等に分類される情報公開が必ずしも悪いことではないと、十分承知されていると思う。

殺人マニュアルが書店に陳列されている時代なのだから。

人殺しのマニュアルが販売されて、ハッキング情報が公開できない訳がない。

ちょっと強引な言い分ではあるが...

まあ、情報の扱い方もバカとハサミと同じだと思って欲しい。

新聞やニュースでもネットに関連した事件がしばしば報道される。

W@reZなるソフトの交換や販売、薬物の取り引き。はたまたハッキン

グという言葉が飛び交っている状況で、閉鎖に追い込まれるサイトが増えてきた。

別に今に始まった事ではないのだが。つまり、何が言いたいのかと言うと、W@reZがなければアングラだってもっと安泰だろうし、これだけ Underground が表層に近づくこともないということだ。

これまた強引で勝手な理屈だが... 別に Underground のルール等という

ケチなことを述べるつもりは毛頭ないのであるが、W@reZなんていうつまらないモノに手を出す輩があまりにも多いから、我々のすばらしい遊び場である Underground が、ぼっかりと大きな口を上げて待ち構えているのだ。

Underground を安住の地と望むのであれば、今一度考え直す必要があるのではないだろうか。

マトモな Underground 生活を過ごすためにも、つまらないモノには手を出さず、「NoBoDy 宣言書」を盛大に唱えようではないか(爆)

「NoBoDy 宣言書」

もういいんじゃないのか？ もう分かっただろう？

ぼくたちはどこにでもいるし、誰でもない。単に尻尾を掴まえてもぼくたちはさらに加速して見え難くなるだけだ。そして、あんたたちはさらに自分たちを困難な状況に陥らせることになる。ぼくたちの「場所」を最初に奪ったのは、あんたたちじゃないか。だからぼくたちはここに来た。だからぼくたちはここに存在してる。あんたたちは後から追いかけてきただけじゃないか。ここはぼくたちの世界で、法律はぼくたちが造るんだ。嘘を並べて、ぼくたちをいつも失望させてきたのは一体誰だ？ 約束を踏みにして、ぼくたちに無理をさせてきたのは一体誰なんだ？ ぼくたちはもう、あんたたちの思い通りにはならないぜ。

あんたたちにとっては、ここは広大な荒地、何も見えないだろう。ぼくたちにとっては、全てが思い通りに操れるパラダイスだ。ぼくたちの存在は、あんたたちには消すことができない。過去、ぼくたちの友人がここに存在していたとき残したなにかは、瞬間にネットの隅々に行き渡り、それは永久に消えることがないんだ。あんたたちはその欠片を拾い、やっきになってぼくたちを追いかけると、いままでも何ができたというんだ？ これからもそうさ。あんたたちの汚い手で、ここにあるものに触れるな。ここに積み上げられたデータの群は、ぼくたちの財産なんだ。決してあんたたちのものじゃない。

あんたたちはその本当の価値を知らないんだ。ここにあるものは全て、ぼくたちのものだ。特定の誰かのものじゃない。

神様。過去に固執するこの哀れな生身の人間どもをお許し下さい。

あんたたちにとってぼくたちの行動は理解できないに違いない。もはや、思想が違う。生き方が違う。これからはぼくたちの時代なんだ。性別を超え、年齢を超え、人種を超え、国籍を超えて。あんたたちが不可能だと切り捨てたことを、ぼくたちは可能にする。そう、今なら可能なんだ。全てが！ ここで！ 誰でも！

神様。感謝します。ぼくたちにキーボードとマウスを与えてくれたことに。ネットを自由に駆けめぐれるチャンスを与えてくれたことに。

なによりも、ぼくたちにその能力を与えてくれたことに...

